



あすもりサポーター通信



今年の春の植樹祭は、全道11ヶ所で樹種10種4,900本、サポーターさんを含め、1,000名以上の参加により実施されました。

はじめは5月19日(土)栗山町、昨年秋に植えたミズナラは食害でかなりの被害でしたが手当ては森林組合の方をお願いして新たにトドマツを480本植樹しました。

真狩の後藤農園さんではカラマツを100本、お楽しみで栗とエゾヤマザクラ数本、お花見や栗ひろいが出来るのはずっと後になりますが、訪れる楽しみがふえました。

20日(日)は道南知内町です。こちらは組合員が選んだミズナラ、ホウノキ、アオダモ、ハリギリ、キタコブシと5種280本を植樹、鹿害対策ネットを設置しました。

昨年の雪で壊れたネットを30日(日)に地区本部長をはじめ店長や職員さんが、手直しをかっててくださいました。

26日(土)むかわ町では、突然の悪天候にもめげずにカラマツを植樹しました。480本を予定していましたが、残りは関係者で植えていただくことになりました。苫小牧地区ではもう一ヶ所豊浦町でも2日(土)にトドマツ400本を植樹しました。

27日(日) 白糠町は2週間前の大雨で植樹地を変更。トドマツ400本を植えました。とても寒くて大変でした。その分午後からの木工教室を楽しみました。



喜茂別町の植樹風景



防護ネット「くわんたい」の取り付け

6月2日(土)喜茂別町ではじめての植樹。ミズナラ300本に防護ネット「くわんたい」を取り付けました。参加人数が多く参加者100名で植えました。時間が少なかった分「もっと植えたかった」とのこと。

次年度からは式典を省略して楽しんでもらいたいと思います。同じ2日(土)に東川町でもイタヤカエデ、ナナカマドを400本植樹。参加者も78名と増えました。

9日(土)は、いよいよ当別町道民の森での植樹祭となりました。この冬の大雪で連休の下見では、まだ2mちかい積雪があったため2週間遅い日程としました。5回目でのこの植樹地での総仕上げの年です。シラカンバ、エゾヤマザクラ、ハリギリ、イタヤカエデ、ナナカマド各300本計1,500本を250名を越す参加者で植樹しました。例年参加の新入職員も今年は配属先が決まってからの参加でしたが、よい結束の場となっていると感じます。

17日(日)上士幌町ナイタイ高原牧場は雨、それでもトドマツ200本とヘキサチュウブを取り付けました。午後からの「森の工作」は好評でした。



天候にも恵まれ、250名を越す組合員が参加した道民の森植樹祭

23日(土)に最後の植樹地、美幌町ではカラマツ400本を40名の参加者で植樹しました。4回目となる植栽も順調に生育していました。道内でも数少ない「FSCの森」である北見地区には学習してもらいたいと思います。



親子で共同作業。森の未来が楽しみです

あすもりサポーター 井上 久子



NPO法人 NATURAS【なちゅらす】

2002年に小中学校が完全週休5日制となったのを機に、「子どもたちに思いっきり遊んでほしい」との願いから前身の「哲明塾」を設立、2006年に「NPO法人 NATURAS」となりました。現在、未来の函館を担う子どもたちに「おもしろい人になってもらおう!」をテーマに、製菓・料理・工作・芸術・自然の5分野で、年間50回以上の体験型教育プログラムを実施しています。

海と山が間近にある函館の自然を理解してもらうために、森をフィールドに自然の価値を学ぶ体験教室や北海道産の木を使った木育プログラムに着目。与えられたプログラムではなく、子どもが自ら発見して創り出すこと、「自然の中で自然に遊ぶ」ことを大切にしています。今年の8月にはブナの森と海の関係を学ぶ「イカダ!ザリガニ?島の探検隊」、11月~3月にはサケと森と海の栄養循環について学ぶ「サケの秘密探検隊 3回シリーズ」を行う予定です。

ホームページ <http://naturas.okoshi-yasu.net/>



あすもり事務局から



あすもり基金のfacebookページができました

7月に、コープ未来の森づくり基金のFacebook (フェイスブック) ページを開設しました。全道の組合員の森づくり活動のようすや、春に植えた苗木の成長のようす、当別町で進む「チームあすもり」の森づくりワークショップ報告、助成先団体や公募助成の情報などを紹介しています。どなたでもご覧になれるページですので、のぞいてみてください。

<https://www.facebook.com/coop.asumori>

あすもりのドングリマークを真ん中に入れたQRコードが出来ました。

携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。



オリジナルノベルティ紹介

あすもり基金では、あすもりサポーター登録時と森づくりイベントに参加していただいた時に、北海道産材を使った基金オリジナルの「キーリング」をお渡ししています。

キーリングは ミズナラ、シラカンバ、イタヤカエデ、ハリギリ、ハルニレ、カラマツの全6種類があります。どれが当たるかわからないのもお楽しみ。それぞれに違う木の色合いや風合い、手ざわりなどを楽しんでください。

黒板消しストラップなど、北海道産材を使った日常小物を作っているチエモク株式会社(札幌市)の製品です。



森の本

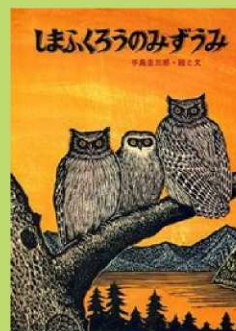
毎号1冊、森づくりや自然に関するおすすめの本を紹介します。

『しまふくろうのみずうみ』

北の森シリーズ

絵・文/手島 圭三郎

発行元/リブリオ出版 ほか



手島さんは紋別市出身の版画家で、国際的に評価の高い絵本作家です。北海道の森をテーマにした「北の森シリーズ」では自然や生き物の様子などが、写真以上にすっきりとした線で描かれています。生き物の生態もていねいに観察されています。風やひかりまでもが感じられ、想像力をかきたてられるシリーズです。